

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2014
July

No. 148

7



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋 になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組めます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組めます。

事業のうごき 7

営農総合支援センター

- 豪雪被害に係る野菜の生産支援
- J A 営農経済活動の導入
- 担い手支援のための取り組み
- 食の安全・安心対策への取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良 E T 卵産子の活用促進)

米麦特産課

- こんにゃく推進セット夏期特別推進
推進目標 25,000 ケース
(平成26年7月1日～8月31日)
- こんにゃく荒粉・精粉販売推進 (入札の実施)
- 椎茸等ほだ場診断及び活着診断

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計赤じそ販売 (7月上旬迄)
- 共計県統一規格きゅうり販売 (7月末日迄)
- 共計バンダム販売 (7月末日迄)
- 共計枝豆販売 (8月末日迄)
- 共計にがうり販売 (9月末日迄)
- 共計オクラ販売 (9月末日迄)
- 共計みょうが販売 (9月末日迄)

販売促進課

- 夏秋野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 漬物類・こんにゃく類販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 夏用出荷資材予約・当用推進
(キャベツ・トマト・茄子等)
- 青果物用予冷库推進 (パナソニック)
- 低コストダンボール
(AKライナー、ノンステーブル段ボール) の推進
- ハウス用更新資材戸別推進 (農ビ、農ポリ等)

- ネポン暖房機第2期推進
- 秋まき用種子推進
(ブロッコリー・ほうれん草・きゅうり等)

生産資材部

花木流通センター

- 売出し・フェアの実施
☆花木流通センター
7月4日(金)～7日(月)
群馬の野菜応援フェア
- ☆愛菜館
7月18日(金)～21日(月)
群馬の野菜応援フェア
7月9日(水)、18日(金)、28日(月)
8の日 お米特売

- 造園工事推進

肥料農業課

- セルフブレンド推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進

農業機械課

- 丸山サンクスキャンペーン (周年)

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 生花利用拡大運動推進 (周年)
- 「上州もみきりうどん」・
「四季のめん詰め合せ」推進 (6～7月)
- 高崎ハムお中元ギフト・関連商品推進 (6～8月)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

石油課

- J A - S S サマーキャンペーン (6～7月)

ガス課

- 平成26年度ガス器具特別推進
- ふれあい訪問活動推進
- 大型給湯器特別推進
- L P ガス系統未利用者切替促進キャンペーン

会長就任挨拶

このたび、全国農業協同組合連合会群馬県本部運営委員会会長に就任いたしました大澤でございます。

わが国の農業を取り巻く情勢は、TPP交渉が難航する中、来年にも発効される見通しとなった日豪EPAなど、農業にとって厳しい環境が見込まれ、国内農業への影響が懸念されています。

国内においては、農業者の高齢化と後継者不足、耕作放棄地の増加、農畜産物価格の低迷、生産コスト上昇など、非常に厳しい状況が続いています。さらに、2月に本県を直撃した記録的な豪雪により、農畜産物や園芸・畜産施設などが甚大な被害を受けました。現場では、施設の撤去や建設など、復旧・再建作業が行われており、JAグループとしても、国・県・市町村と連携しながら、全力を挙げて復興対策に取り組んでいます。

また、農協改革問題について、国は「規制改革実施計画」を閣議決定しました。農業と地域に根ざした民間組織として、自らの意思に基づく農協改革の考え方を早急に取りまとめ、自己改革を着実に進めてまいります。

このような中、全農をはじめJAグループは、組合員、地域の利用者の良きパートナーとして、サポートしていく責務があります。

そのためには、JA経営の安定と経営基盤の確立が重要であり、地域農業の振興と、組合員・地域の利用者の経営基盤の向上、地域の活性化に向けて取り組み、安全・安心な農畜産物の安定供給に努めてまいりますので、今後、皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



全国農業協同組合連合会
群馬県本部運営委員会会長

大澤 憲一

副会長就任挨拶



全国農業協同組合連合会
群馬県本部運営委員会副会長

亀井 勝男

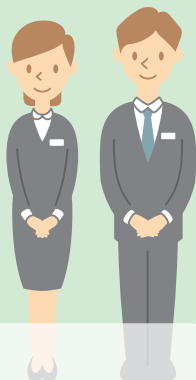
このたび、全農群馬県本部運営委員会副会長に就任いたしました亀井でございます。

昨年度は、急激な円安による輸入生産資材や原油の価格高騰により、農家経営にとって非常に厳しい一年となりました。さらに、2月には記録的な豪雪に見舞われ、本県でも農畜産物と農業施設に甚大な被害が発生しました。現在もJAや行政と連携し、復興作業に当たっています。また、TPP交渉についても、厳しい局面が続いており、国内農業への影響が懸念されています。

このように激変する農業・経済情勢に対応し、JA・組合員の負託に応えるため、全農群馬県本部としまして、「事業競争力の強化」「安全・安心な農畜産物の提供」「事業領域の拡大」「経営体質の強化」「県産農畜産物の販売力強化」の5つの柱を軸として、担い手対応の強化、組合員の手取り最大化を図ります。また、事業の広域化や一体化などのJA経済事業改革の支援や消費拡大に向けた広報活動の強化に取り組めます。

これらの実現に向け、副会長としまして最善の努力を傾けることをお誓いし、就任の挨拶といたします。

今年度、新たに
全農群馬県本部の
一員となった
新入職員を
ご紹介します。



- ①仕事内容 ②趣味・特技
- ③座右の銘（モットー）
- ④自分を野菜に例えると？（理由）
- ⑤今後の意気込みをどうぞ！



いづか のりふみ
飯塚 宣文

●園芸部 園芸販売課

- ①青果物販売における市場との価格交渉
（担当品目 きゅうり）
（担当地区 東部）
- ②野球・ドライブ
- ③百聞は一見にしかず
- ④きゅうり…まだまだ青いですが、真っ直ぐに育っています。
- ⑤日々迷惑をかけてばかりですが、毎日少しずつでも成長していけるように周りの先輩たちを見習ってがむしゃらにがんばります。よろしくお願いします。



えのきだ のりゆき
榎田 紀之

●生産資材部 肥料農業課

- ①肥料農業技術担当として技術資料の作成、肥料や農業、土壌診断の知識習得
- ②スポーツ全般（特にサッカー）、映画鑑賞、ドライブなど
- ③いつも楽しく！！
- ④枝豆の一粒・・・豆っぽいと言われたことがありました。
- ⑤一日でも早くたくさんの方を覚えて、先輩方に少しでも近づけるように、また技術的な質問に自信を持って答えられるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



しげはら たくや
茂原 拓也

●園芸部 園芸資材課

- ①種苗（発注業務）、種馬鈴薯（種馬鈴薯協議会受託事務・取引実務）、広報業務（全農ぐんまHP園芸資材情報・営農経済トピック）、雪害復興補助業務（パイプハウス見積書作成など）
- ②買い物・読書、社会人になったのでゴルフも始めています。
- ③人事を尽くして天命を待つ
- ④ごほう…ごほうみだたよく言われるので。
- ⑤まだまだ未熟者ですが、新人らしく謙虚に業務に取り組み、周囲の方々に信頼を得られるような全農職員となるべく努力していきますので、よろしくお願いします。



しもだ ひろのり
下田 裕徳

●生活部 施設住宅課

- ①推進業務 西部地区担当（組合員への土地活用等）
- ②野球・サッカー
- ③何事も積極的に
- ④ブリックスナイン…体の糖度が高いからです。
- ⑤内部はもちろんのこと、農協さん、組合員さんから必要とされる存在に、一日でも早くになりたいです。よろしくお願いします。



ましも だいき
真下 大輝

●畜産農産部 米麦特産課

- ①推進業務 北西部地区担当
- ②ライブ鑑賞・映画鑑賞・スポーツ観戦
- ③百聞は一見にしかず
- ④ダイコン…見たままです(涙)
- ⑤仕事も運転もまだまだ慣れず、あたふたした毎日ですが、自分のことからコツコツやっていきたいと思えます。よろしくお願いします。



畜魂祭
(6. 2 (株)群馬県食肉卸売市場)



全農群馬県本部牛乳共販委員会 平成26年度全体会議
(6. 2 J Aビル)

■ 多くの家畜に感謝し供養

6月2日(月)、群馬県の安全・安心な食肉を消費者に届けることにより本県畜産の振興に寄与している(株)群馬県食肉卸売市場で、多大な貢献をした家畜に感謝し、その魂を供養する「畜魂祭」が行われました。挨拶に立った長岡会長は、「高度な衛生管理で今後とも安定的な生産を行っていきたい。」と述べました。式典には当県本部も出席し、家畜に対する慰霊と本県畜産のますますの発展を祈念しました。

■ 安全・安心な生乳生産の維持と経営安定を図る

6月2日(月)、系統農協による牛乳共販を推進し、県下酪農家における高品質の生乳生産を含む自主性の高揚と酪農経営の確立を図ることを目的に組織されている全農群馬県本部牛乳共販委員会は、「平成26年度全体会議」を開催し、県内各地区の委員会から多数の委員が出席しました。挨拶に立った長坂会長は、「年に一度の機会。積極的に意見を交換して欲しい。」と挨拶し、上程された議案は全て可決承認されました。



J A北群渋川榛東セルフ給油所竣工式
(6. 7 J A北群渋川榛東セルフ給油所)



上州和牛E U輸出出発式
(6. 9 (株)群馬県食肉卸売市場)

■ 地域の活性・生活向上に期待

6月7日(土)、J A北群渋川と当県本部の一体化運営によるセルフ給油所の完成に伴い、「J A北群渋川榛東セルフ給油所竣工式」が開催されました。式典で挨拶に立った亀井組合長は、「地元で愛される給油所として、サービスの充実を図りたい。」と述べ、完成を祝いました。このセルフ給油所は、朝7時から夜9時までの営業となっており、同日オープンしました。

■ 上州和牛 輸出拡大へ

5月27日(火)、(株)群馬県食肉卸売市場は、厚労省から日本で初めてEU輸出施設の認定を受けました。これに伴い、6月9日(月)、上州和牛が国産和牛として初めてEUに輸出されることを祝し、「上州和牛E U輸出出発式」が開催されました。挨拶に立った長岡会長は、「海外での需要を掘り起こすことは、肉牛産業の発展に繋がる。」と述べました。第一便は、11日(水)にイギリスとオランダに向けて出発しました。



ぐんまの生梅フェア
(6.11 アピタ笠懸店)



じゃがいも・たまねぎ収穫体験
(6.16 花木流通センター 収穫体験農園)

■ 本県特産 生梅をPR

6月11日(水)、当県本部は、群馬県共計生梅運営委員会及び県と共催し、「ぐんまの生梅フェア」を開催しました。生産量が全国2位を誇る生梅の消費拡大を図るべく、青梅の「白加賀」の販売や梅ジュースの試飲、梅レシピの配布を行いました。当日はぐんまちゃんも登場し、会場を盛り上げました。来場者からは、「梅ジュースは夏にぴったり。美味しいので自分も作ってみたい。」と好評をいただきました。

■ 立派な野菜に大興奮

6月16日(月)、花木流通センターは食育教室の一環として、地域の保育園児を対象とした「じゃがいも・たまねぎ収穫体験」を開催しました。園児たちは、講師である生産者から野菜のでき方や収穫の仕方を教えてもらいながら収穫を体験しました。今回は、園児の家族も参加し、親子三代で収穫を楽しむ姿も見られました。花木流通センターでは、このようなイベントを定期的に開催しています。



J A 赤城たちばな北橋支所完成予想図

■ JA赤城たちばな新支所着工

6月16日(月)、「J A 赤城たちばな北橋支所起工式」が執り行われ、設計及び施主代行を務める当県本部も出席しました。新支所は、渋川市北橋総合支所や幼稚園に隣接した立地となっており、若い世代の新規顧客獲得が期待されています。また、キッズコーナーや、車幅に余裕のある広い駐車場を設けることで、誰もが利用しやすい支所を目指します。オープン、11月25日(火)の予定です。



平成26年度クミアイプロパンふれあい訪問活動研修会
(6.25 ガス課)

■ 更なる保安の高度化を促進

6月25日(水)、ガス課主催の「クミアイプロパンふれあい訪問活動研修会」が開催され、J Aの担当者へ情勢報告や活動要領についての説明が行われました。この活動は、お客様のお宅を訪問し、ガス器具の無料点検・販売を行うもので、平成26年度の活動期間は7～12月までの6ヶ月間です。また、パワーポイントや実機を使用し、ガス機器の長期使用に伴う経年劣化事故の防止対策「長期使用製品安全点検・表示制度」についての講習会も行われました。



平成26年度TAC育成研修会（園芸資材）
（6.27 前橋市内圃場）

■ 技術を習得し現場に活かす

6月27日（金）、営農総合支援センターと園芸資材課共催の「平成26年度TAC育成研修会（園芸資材）」が開催され、JAのTAC及び資材担当者の他、関連企業からも出席がありました。この研修会では、2月の雪害で倒壊したパイプハウスの撤去が進む中、今後の再建に向けた技術習得を目的として、全農全国本部生産資材研究室の広本室長を講師に迎え、パイプハウスを実際に建てる実地研修を行いました。



愛菜館リニューアルオープン＆群馬県産農畜産物フェア
（6.27～29 愛菜館）

■ 消費者ニーズに合わせリニューアル

6月27日（金）～29日（日）、やさいひろばJA直販愛菜館の新装に伴い、「愛菜館リニューアルオープン＆群馬県産農畜産物フェア」が開催されました。更なる品揃えの充実を図るべく、店内に広いショーケースを設置し精肉販売を開始した他、無洗米精米機も導入しました。28日（土）・29日（日）には、群馬県産あさひの夢を使用した焼きおにぎりやポップコーンの無料配布、上州牛・上州麦豚の試食販売等も行われ、多くの人で賑わいました。



JAグループ野菜生産対策会議
（6.30 JAビル）

■ 野菜の生産拡大に向けた取り組みを強化

6月30日（月）、営農総合支援センター主催の「JAグループ野菜生産対策会議」が開催され、JA・県・中央会・当県本部関係部署担当者が出席しました。会議では、平成26年度野菜振興スケジュール、野菜振興3か年計画、平成25年度取り組み実績、豪雪被害に係る野菜の生産状況、野菜振興支援対策、安全・安心対策について協議し、野菜振興計画達成に向け、意見交換が行われました。



平成26年度第1回TAC（営農経済渉外）活動研究会
（6.30 JAビル）

■ 活動計画を協議し情報の共有化を図る

6月30日（月）、営農総合支援センター主催の「平成26年度第1回TAC（営農経済渉外）活動研究会」が開催され、JA及び当県本部関係部署担当者が出席しました。研究会では、活動の県内情勢、年間人材育成研修計画、全国本部TACパワーアップ大会、JATAC交流会、JATAC活動優秀表彰に関する要領、平成26年度担い手支援対策事業の概要、TAC活動研究会役員改選について協議が行われました。

更なる事業強化へ向けて 協議会通常総会開催

各事業の振興を目的に、日頃より盛んな活動を行っている群馬県園芸振興協議会・群馬県ＪＡ畜産連絡協議会・群馬県蒟蒻生産協会・ぐんま県産米販売促進対策協議会をはじめとする各種協議会の通常総会が、6月18日(水)、ＪＡビルにおいて開催され、上程された議案は全て可決承認されました。平成26年度の事業計画についてご紹介します。

群馬県園芸振興協議会

◆平成26年度事業計画

産地ブランド力を強化すべく、関係機関の指導・支援のもとに次の事業を実施。

1. 委員会
 - (1) 安全・安心な青果物の生産供給体制の推進
 - ア. 病害性大腸菌O-157対策の実施
 - イ. 新産地育成対策事業の実施
 - (2) 県産青果物産地強化対策の推進
 - ア. 群馬県青果物販売促進会議の開催
 - イ. 組合長(会長・理事長)視察研修会の実施
群馬県ＪＡ畜産連絡協議会との共催
2. 幹事会
 - (1) 「野菜王国・ぐんま」総合対策事業の推進
 - (2) 専門部会との連携による各種課題の検討
3. 専門部会
 - (1) 企画戦略部会 (2) 露地野菜部会
 - (3) 施設野菜部会 (4) 花き部会 (5) 果樹部会
 - (6) 菌茸類部会

群馬県蒟蒻生産協会

◆平成26年度事業計画

会員団体、日本こんにゃく協会、県及び関係機関と協力し次の事業を実施。

1. 生産流通対策
 - (1) 生産振興
 - (2) 作況調査
 - (3) 安全・安心対策
 - (4) 生玉出荷規格及び荒粉の品質改善
 - (5) 共販の拡大及び計画的出荷・平均販売の推進
2. 消費拡大対策
3. 外国産対策

群馬県ＪＡ畜産連絡協議会

◆平成26年度事業計画

畜産農家の経営改善及び安定を図るため、次の活動を展開。

1. 経営安定対策
2. 生産基盤の維持及び拡充強化対策
3. 流通改善対策
4. 畜産担い手対策
5. 消費拡大対策
6. 農政対策

ぐんま県産米販売促進対策協議会

◆平成26年度事業計画

県産米の普及啓発及び販売促進に係る事業を効果的に実施し、県産米のイメージアップと一層の需要拡大を図るため、次の事業を実施。

1. 学校給食等普及促進事業
2. 県内外企業・卸等利用促進事業
3. 県産米広告・宣伝事業
4. 各種イベント対策・販売促進事業

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時 間
今が旬！ 婦恋高原キャベツの魅力／ＪＡ婦恋村	※ 8月3日(日)	AM 8:00～8:30
	8月4日(月)	PM 9:00～9:30
季節を彩る菊／ＪＡ甘楽富岡	※ 8月10日(日)	AM 8:00～8:30



三隅 有里子アナ

生活課より特別推進のご案内



安心と信頼の
くらしの良品

エーコープ ペットボトルシリーズ 厳選 国産茶葉 100%使用

①エーコープ緑茶
500ml×24



国産茶葉
100%
使用

スタンダードな緑茶ペットボトルです。飲みやすさを追求し、お茶の旨みを引き出し、苦み・渋みを抑えた素直な味わいです。

②エーコープ緑茶
350ml×24



国産茶葉
100%
使用

エーコープ緑茶ペットボトルの350mlサイズです。手軽なサイズが会議・お集まりの時などに扱いやすいと評判です。

③エーコープ烏龍茶
500ml×24



国産茶葉
100%
使用

国産茶葉を発酵させて作られた烏龍茶です。独特の香りとすっきりとした味わいをお楽しみください。

※都合によって容器デザイン等の変更がありますのであらかじめご了承ください。

群馬産小麦粉づくり

上州もみ切り うどん

1箱
100g×18袋入



群馬県
JAグループ
限定品!

まごころとおいしさを食卓に

高崎ハム

夏のギフト取扱中!



A-coop 国産小麦粉・米粉使用

四季のめん詰合せ

1箱 (270g×8袋入)



うどん×2・ひやむぎ×2・そうめん×2
もみ切り打ち田舎そば×2

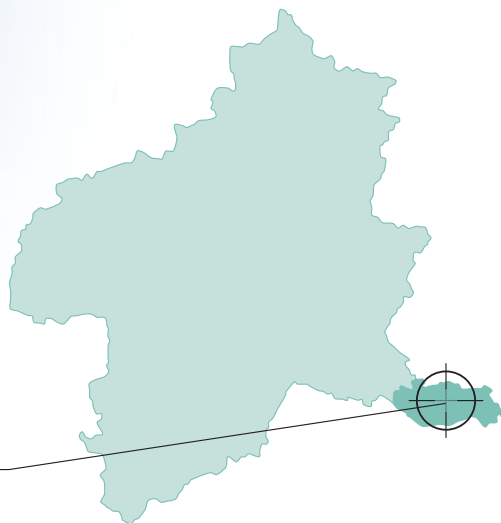
ご注文・お問い合わせ先

JA全農ぐんま 生活課

☎027-220-2351

農業 チャレンジャー

JA邑楽館林管内



農業こそ、自分に合ったライフスタイル

JA邑楽館林管内 君島 拓さん



君島 拓(きみじま・たく)さん

1980年生まれ、33歳。
JA邑楽館林青年部・
邑楽館林4Hクラブに所属。

栽培面積：

きゅうり…………… 10a
トマト…………… 10a
ニガウリ…………… 10a
ちぢみほうれん草…… 10a(予定)

趣 味：ゴルフ

「農業がやりたい！」 新規就農への思い

今回のチャレンジャーは、JA邑楽館林管内できゅうりの生産を行う君島さんです。茨城県で生まれ、農業とは無縁の生活を送ってきたという君島さん。「地元の高校を卒業後、大学に通うため群馬に来ました。在学中、館林で花卉や野菜の栽培を行う農家でアルバイトをしており、そこで農業に興味を持つようになりました。自分の性に合っていたのでしょうか。働く楽しさを感じました。大学を卒業後、東京の会社に就職しましたが、そこでも農業への思いが消えることはありませんでした。」と話してくれました。

新規就農を決意し、会社を退職した君島さんは、学生時代のアルバイト先である館林の農家で再び働き始めました。その後、きゅうりの専門農家での研修を経て独立。就農3年目の今年は、きゅうりの他にも加工用トマトやニガウリの栽培を行っており、冬にはちぢみほうれん草の栽培も予定しているそうです。

周囲の支えに感謝

君島さんは、「JA邑楽館林青年部」と30代前半までの農業青年で組織されている「邑楽館林4Hクラブ」に所属し、栽培技術向上を目的

とした研修会の実施や地域農業活性化に向けた活動等を行っています。「新規就農した自分にとっては、仲間づくりの場ですね。今の自分が成り立っているのは、周囲のサポートがあるからです。先輩方からは、『県外から来た人が頑張っている姿は、良い刺激になる』と激励されました。新規就農者の見本となれるよう頑張りたいです。」と話してくれました。

安定生産を目指して

家族の支えも大きいという君島さん。「茨城の両親を群馬に呼び、現在は父が作業を手伝ってくれています。サラリーマンだった父にとっても農業は初めてのこと。それでも一生懸命やってくれています。また、子供たちが圃場に遊びに来てくれるのも嬉しい限りです。作物が成長する様子や自然の生き物を見せてあげることができるのも、農業の魅力ですね。」と話してくれました。

最後に、今後の展望を伺うと、「まだまだ始まったばかり。まずは、中心作物であるきゅうりを安定的に生産できるよう努力したいと思います。そして、自分の家族や消費者の皆さんに安心して食べてもらえる野菜作りを、これからも続けていきたいです。」と話してくれました。熱い思いで前進する姿に、今後の活躍が期待されます。



1



2



3



4

- 1 「土づくりにこだわった、安全・安心なきゅうりを多くの人に食べて欲しい」と話す。
- 2 もともと体を動かすことが好きな君島さん。農業にやりがいを感じているそう。
- 3 きゅうりのハウスと加工用トマトの圃場の様子。
- 4 加工用トマト。太陽の光を浴び、順調に育っている。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JA前橋市
富士見支所 営農経済課

山本 洋右さん

Profile

やまもと・ようすけ (25歳)

趣味.....旅行

週末の過ごし方.....アウトドア

好きなスポーツ.....ゴルフ・お酒

●職場の皆さんから見た山本さん

「うちのホープです!! 組合員の方々のため日々頑張る姿に、職員一同期待しています!」

「品質向上に貢献したい! 熱き思いで業務に邁進」

——どうしてJAで働こうと思ったのですか？

実家が兼業農家なので、JAには幼い頃から親しみがありました。在学中に先生からの勧めもあり、就職を決めました。

——仕事内容を教えてください。

入組1年目は、米麦の担当をしていました。2年目からは、現在の富士見野菜集出荷場で野菜の担当をしており、今年で6年目になります。

業務内容としては、午前中は野菜の検査・検品を行い、午後は営農指導のための圃場巡回や事務作業を行っています。

——仕事をするにあたり、気を付けていることはありますか？

野菜の担当になったばかりの頃、先輩から「消費者の目線に立って検査・検品すること。そして、全ての組合員の品質向上を目指した営農指導をすること。」とアドバイスをもらいました。今でも、そのことを基本に作業を行っています。また、組合員の方とのコミュニケーション

を大切に、広く情報収集をした中で、その人に合った対応が出来るよう心がけています。

——組合員の皆さんへの思いを聞かせてください。

農業と深い係わりをもつことで、「食」に関して改めて考えるようになりました。組合員の皆さんが一生懸命育てたものを、自分たちはいただいているのだと実感しています。消費者の方には、食べ物を粗末にせず、大切に食べて欲しいと思います。

——趣味はなんですか？

国内旅行です。47都道府県全てを、観光しながら回りたいと思っています。海外旅行はそれからですね。他にも、週末はアウトドアを楽しんでいます。

——アウトドアは、どのようなことをするのですか？

バーベキューをしたり、登山をしたりしています。体を動かすことと自然が好きなので、3年前から始めました。

——体を動かすことが好きなのですね。学生時代は運動部ですか？

はい。空手部に所属していました。今でも、たまに道場に行きます。

——最後に、今後の意気込みをお聞かせください。

当管内も、2月に発生した雪害により大きな被害を受けました。関係機関と連携し、今後も復旧・復興に全力で取り組みます!

山本さん、お忙しい中ありがとうございました。

▼山本さん愛用のアウトドア用品を見せていただきました!



畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は6月25日に5月の牛乳乳製品統計を公表した。5月生乳生産量は65万316tで前年同月比3.1%の減となった。北海道は33万3,025t（前年同月比2.9%減）で生産量の全国シェアは51.2%となった。

都府県の生産量は31万7,291tとなり、前年同月比で3.3%減少した。

■販売及び乳製品情勢

5月の用途別処理量は、牛乳等向けが34万2,141t（前年同月比1.2%減）、乳製品向けが30万3,151t（ $\searrow$ 5.3%減）となった。

飲用牛乳等生産量は30万635 kl （ $\searrow$ 1.4%減）で前月から0.3ポイント減少し、内牛乳が26万671 kl （ $\searrow$ 1.6%減）、さらに乳飲料は11万6,684 kl （ $\searrow$ 2.1%減）で前月より1.5ポイント減少した。

生乳生産量と用途別処理量

（単位：t、%）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
生乳	全	626,346	572,501	643,041	626,764	650,316	
生産量	群馬(委託実績)	18,314	15,987	19,066	18,815	19,236	
	本会(委託実績)	5,901	5,294	6,256	6,193	6,293	
用途別	飲用牛乳等向け	313,870	302,630	315,910	318,995	342,141	
処理量	乳製品向け	307,918	265,027	322,423	302,703	303,151	
	その他向け	4,558	4,844	4,708	5,066	5,024	
前年対比	生乳生産量(全国)	97.2	96.3	96.8	96.4	96.9	
	〃(群馬)	97.7	91.7	95.8	96.0	96.4	
	〃(本会)	103.1	98.9	102.1	94.4	94.8	
	飲用牛乳等向け	97.9	100.5	98.5	98.4	98.8	
	乳製品向け	96.6	91.8	95.1	94.2	94.7	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
							3,118,968
							91,417
							29,937
							1,593,546
							1,501,222
							24,200
							96.7
							95.5
							98.7
							98.8
							94.5

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(7月予想) 強持合い。ロインやヒレなど高級部位の動きは鈍いが、値頃感のある和牛3等級や交雑種の需要は底堅い。

肉牛枝肉相場(予想)

和牛去勢A5 2,100円中心
和牛去勢A4 1,850円中心

和牛去勢A3 1,700円中心
和牛去勢A2 1,380円中心
交雑去勢B5 1,740円中心
交雑去勢B4 1,440円中心
交雑去勢B3 1,250円中心
交雑去勢B2 1,200円中心
乳牛去勢B2 850円中心

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均・計
和牛去勢A4	25年 1,695	1,750	1,785	1,749	1,829	1,901	1,829	1,832	1,896	1,929	1,999	2,076	1,856
	26年 1,900	1,904	1,902	1,899	1,914	1,893							1,902
	前年格差 205	154	117	150	85	▲8							46
和牛去勢A3	25年 1,585	1,615	1,633	1,627	1,717	1,710	1,664	1,649	1,710	1,780	1,852	1,813	1,696
	26年 1,658	1,693	1,718	1,669	1,664	1,658							1,677
	前年格差 73	78	85	42	▲53	▲52							▲20
和牛去勢A2	25年 1,180	1,419	1,479	1,508	1,472	1,522	1,441	1,405	1,521	1,662	1,579	1,583	1,481
	26年 1,371	1,516	1,478	1,516	1,492	1,486							1,477
	前年格差 191	97	▲1	8	20	▲36							▲4

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

年・月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均・計
25年	1,000	1,123	1,025	1,236	929	898	1,126	1,098	1,090	1,162	1,584	1,385	13,656
26年	1,132	1,186	1,139	1,291	1,098	1,104							6,950
前年増減	132	63	114	55	169	206							▲6,706

■素牛動向

- ①全農・取引基準価格(乳去) 260~300kg 485円/kg(前月比96.8%)
②F1価格(去勢) 250~300kg 1,070円/kg中心(雌) 250~300kg 948円/kg中心
③和牛子牛(去勢) 591千円中心(前月比99%) (雌) 518千円中心(前月比100%)

養豚情勢

枝肉相場関係

豚群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
24年(A)		390	393	388	397	420	479	443	468	425	365	358	418	412
25年(B)		363	390	404	450	499	485	498	507	499	466	477	521	463
26年(C)		458	467	496	553	582	621							530
(B-A)		▲27	▲3	16	53	79	6	55	39	74	101	119	103	51
(C-B)		95	77	92	103	83	136							66

豚肉価格形成要因

豚群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間頭数
と畜頭数	25年	45,435	40,085	41,826	42,393	40,315	34,599	40,317	37,843	39,480	47,010	43,823	45,029	498,155
	26年	43,425	39,985	39,852	44,690	39,069	36,628							243,649
前年比(%)		95.6	99.8	95.3	105.4	96.9	105.9							48.9

肉豚生産出荷予測（全国）

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	2月	3月	1～3月	4月	5月	6月	4～6月	7月	8月	9月	7～9月	10月	11月
全国出荷予測頭数(千頭)		1,341	1,370	4,166	1,390	1,315	1,246	3,951	1,339	1,298	1,347	3,984	1,448	1,415
前年同月比(%)		100	99	100	96	93	99	96	97	98	99	98	94	95

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、7月の出荷見込頭数は1,339千頭（前年同月比97%）となっている。その後は8月1,298千頭（〃98%）、9月1,347千頭（〃99%）と予想されている。豚肉は持合いの見通し。近年にない高値で推移しているが、ハム・ソーセージなど中元消費も後押しして需要は落ちにくい。梅雨が明ければバーベキューなどのレジャー消費も増える。価格転嫁の難しさから、高値続きに警戒感を強める仲卸もいる。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

14年7月190円（見込み） 121%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
25年(A)		171	190	175	172	164	155	157	175	211	220	260	280	194
26年(B)		224	240	230	223	204	199							220
(B-A)		53	50	55	51	40	44	0	0	0	0	0	0	26
全国基金	25年	18,999	0	9,774	15,714	21,645	24.3	24.3	9,306	0	0	0	0	
補填	26年	0	0	0	0	0	0							

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、9月以降補填財源はありません。

■価格動向：6月の平均単価は199円（前年同月+44円）と前年同月を上回り、平成25年7月～平成26年6月期平均は219円（前年同期比+40円）であった。

■出荷動向：気温の上昇とともに卵重、生産量が増える。ただ、2月の豪雪で崩壊した鶏舎の修理工事が遅れている地域がある。

■需要動向：梅雨でスーパーなどの家庭向けが振るわない。夏休みが始まると学校給食向けが減る。年末向けの加工の手当ては増えるが、高値が続き動きが鈍い。

卵価要因

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
加工卵輸入	25年	1,838	1,961	1,997	2,283	2,151	1,776	2,084	2,488	1,867	2,201	2,451	2,631	25,728
実績(t)	26年	3,060	2,845	2,688	2,286									10,879
前年比(%)		166.5	145.1	134.6	100.2									42.3
餌付羽数	25年	7,215	7,317	7,520	7,742	7,767	7,895	7,200	6,896	8,170	7,346	7,464	7,636	90,168
(千羽)	26年	7,251	7,569	7,734	7,715	8,291								38,560
前年比(%)		100.5	103.4	102.8	99.7	106.7								42.8

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(1) 16年:173円 (4) 19年:169円 (7) 22年:194円
 (2) 17年:204円 (5) 20年:193円 (8) 23年:188円
 (3) 18年:184円 (6) 21年:175円 (9) 24年:181円
 (10) 25年:207円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

6月11日付けの米国農務省需給見通しによると、2014/15年度の生産量は単収および作付面積が据え置かれ前回発表の13,935百万ブッシェルとなり、需要量についても前回発表と変わらなかったため、期末在庫は前月発表と同様の1,726百万ブッシェル（在庫率12.90%）となる見通し。

シカゴ定期は、米国中西部の生産地では作付け作業が概ね完了し、天候についてもとうもろこしの生育に好ましい状況が続いている。輸出需要は依然として堅調であるものの、作柄状況（G/E率）および発芽進度は平年以上の水準を保っており、新穀に対する期待感から7月限は440セント/ブッシェル前後で推移している。今後は、引き続き生育期間における気温ならびに降雨に注目が集まり、特に今後は7月頃のポリネーション（受粉）期における天候相場が焦点となってくると考えられる。

米国産とうもろこしのFOBプレミアムは、引き続き輸出需要が強いことから堅調に推移している。

②大豆粕

6月11日発表の米国農務省需給見通しによると、

2013/14年産は供給量に変化は無かったものの（3,519百万ブッシェル）、需要量が搾油向け需要の増加により（今回3,395百万ブッシェル、前回3,390百万ブッシェル）、期末在庫は前回発表から5百万ブッシェル減の125百万ブッシェルとなった。これにより期末在庫率も3.83%から3.68%へと歴史的な低水準となった。

2014/15年度の大豆需給見通しは、生産量・需要量は前月発表内容から変わらなかったが、2013/14年産の期首在庫が5百万ブッシェル減となるため、期末在庫は325百万ブッシェル（在庫率9.42%）となった。

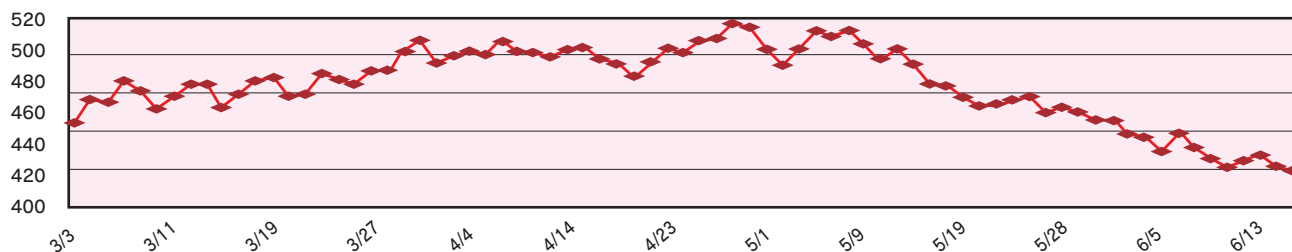
大豆粕のシカゴ定期は、中西部で天候に恵まれ作付けが順調に進むとの見方から、現在は450セント台で推移している。

■海上運賃

パナマックスのガルフ/日本運賃は、船腹需要が緩和し軟調に推移してきていたものの、イラクでの情勢不安により燃料価格が上昇の様相を見せていることから、下げ幅が抑えられる状況となっている。現状は42ドル付近で推移している。

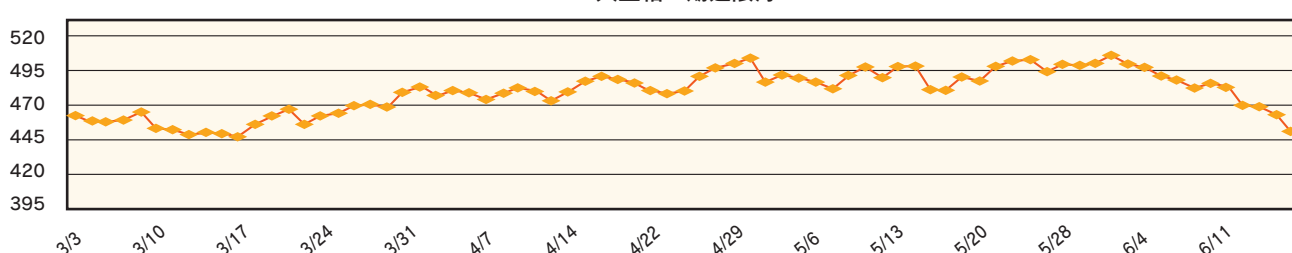
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



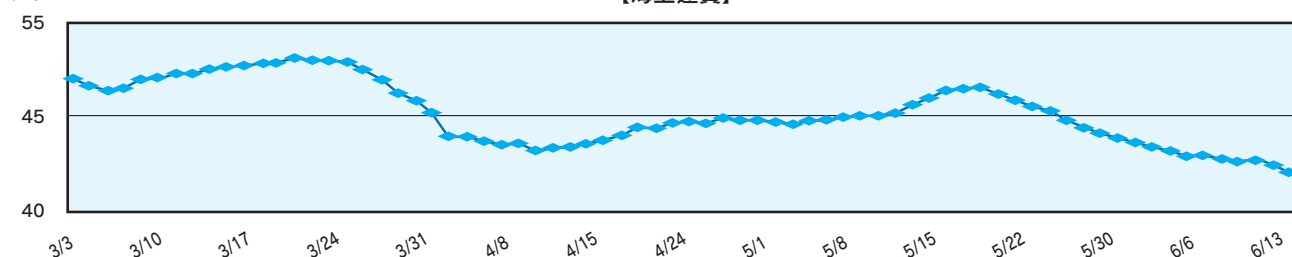
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！

今月のふらわーランドのおススメは、「観葉植物」です。手軽に育てられ、インテリアとして人気の観葉植物。水やり・日光・温度を注意すればみるみる内に大きくなり、室内の空気をキレイにしてくれます。この夏、癒しを与えてくれる観葉植物を育ててみませんか。職員一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



8月の売出し・イベント案内

開催日	内容
8月9日(土) ～15日(金)	お盆フェア
8月24日(日) 9月6日(土)	秋冬野菜定植講習会 (ブロッコリー・キャベツ ・白菜の定植と大根の播種)
両日とも 14:00～	【参加費・申込み不要】

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～9月毎週火曜日定休)

取扱商品

- 園芸資材館/営農・園芸資材等
- ふらわーランド/鉢花、花苗等
- JA植木コーナー/緑花木、盆栽等
- エクステージ/外構・造園工事等
- ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等
- 外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

TEL:027-220-2427 FAX:027-220-2424 前橋市亀里町1307-1

愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

- 産直野菜
- 農産加工品
- 店頭精米等



お問い合わせ先

TEL:027-210-7788 FAX:027-210-9811 前橋市古市町106-1

グッドぐんまの旬の市



- 電車/東武伊勢崎線「浅草駅」より徒歩3分
- 地下鉄/東京メトロ銀座線「浅草駅」より徒歩3分

お問い合わせ先

〒111-0032 東京都台東区浅草一丁目34番4号
TEL:03-3844-0830 FAX:03-3844-0837

営業時間:毎週木曜日定休/AM10:00～PM18:00
土日は群馬県農畜産物のPRイベント、平日は県特産品の販売をしています。

旬の市 8月のイベント案内

8月2日(土)	JA嬬恋村 キャベツの日フェア
8月23日(土)	JAあがつま 高原野菜フェア
8月23日(土)	サンバカーニバル 地酒まつり
8月31日(日)	野菜の日フェア

※イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番

「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



ミニトマトのパンナコッタ

材 料

4人分 (1人前142kcal)

ゼラチン..... 5g
水..... 大さじ3
ミニトマト..... 9個位
牛乳..... 150cc
生クリーム..... 100g
砂糖..... 30g
ラム酒..... 小さじ1
ドライバジル..... 少々

作り方

- 1 ゼラチンと水を混ぜ合わせ、湯銭し溶かす。
- 2 ミニトマトは湯むきし、飾り用の4個を残し、粗いみじん切りにする。
- 3 鍋に牛乳・生クリーム・砂糖を加え、温める。砂糖が溶けたら1のゼラチンを混ぜ、火を止める。
- 4 3に2のみじん切りにしたミニトマト・ラム酒・ドライバジルを加え、裹ごしする。
- 5 4を器に流し、固まりかけたら飾り用のミニトマトを上のにのせる。
- 6 冷蔵庫で冷やし固める。